

農山漁村発イノベーションの推進について

令和5年7月
農林水産省 農村振興局

新たな食料・農業・農村基本計画（令和2年3月閣議決定）における農村的振興に関する施策（概要）

農村、特に中山間地域においては、少子高齢化・人口減少が都市に先駆けて進行する一方で、「田園回帰」による人の流れが全国的な広がりを持ちながら継続しているなど、農村の持つ価値や魅力が国内外で再評価され、多様なライフスタイルの普及や、関係人口の拡大等により地域活性化に貢献する動きがみられる。このような最近の変化にも的確に対応しつつ、**関係府省、都道府県・市町村、事業者が連携・協働し、「地域政策の総合化」を図る。**

しごと

（１）地域資源を活用した**所得と雇用機会の確保**

- ① 中山間地域等の特性を活かした**複合経営等の多様な農業経営の推進**
- ② **地域資源の発掘・磨き上げと他分野との組合せ等**を通じた**所得と雇用機会の増大**
 - ・農村発イノベーション※をはじめとした地域資源の高付加価値化
 - ・農泊、ジビエ、農福連携 等
- ③ **地域経済循環の拡大**
 - ・バイオマス・再生可能エネルギー、農畜産物等の地域内活用・消費
 - ・農村におけるSDGs達成に向けた取組
- ④ **多様な機能を有する都市農業の推進**

十
食料・農業政策

くらし

（２）中山間地域等をはじめとする**農村に人が住み続けるための条件整備**

- ① **地域コミュニティ機能の維持や強化**
 - ・世代を超えた人々による地域のビジョンづくり
 - ・放牧等の多様な土地利用方策とそれを実施する仕組みの構築
 - ・「小さな拠点」の形成
 - ・地域コミュニティ機能の形成のための場づくり
- ② **多面的機能の発揮の促進**
- ③ **生活インフラ等の確保**
 - ・情報通信環境の確保
 - ・地域内交通の確保・維持 等
- ④ **鳥獣被害対策等の推進**

※農村発イノベーション

活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、これまでにない他分野と組み合わせる取組

活力

（３）**農村を支える新たな動きや活力の創出**

- ① **地域を支える体制及び人材づくり**
 - ・地域運営組織の形成
 - ・地域内の**人材の育成**及び確保
 - ・関係人口の創出・拡大や関係の深化を通じた人材の裾野の拡大 等
- ② **農村の魅力の発信**
 - ・半農半X、デュアルライフ（二地域居住）などの**多様なライフスタイル**の提示
 - ・農的暮らしなどの**多様な農への関わり**への支援体制の構築
 - ・棚田地域の振興と魅力の発信 等
- ③ **多面的機能に関する国民の理解の促進等**

十
食料・農業政策

仕組み

（４）「３つの柱」を継続的に進めるための関係府省で連携した仕組みづくり

- **農村の実態や要望**について、農林水産省が中心となって、都道府県・市町村、関係府省、民間とともに、現場に出向いて**直接把握**し、把握した内容を調査・分析した上で、**課題の解決**を図る取組を継続的に実施するための仕組みの構築

農山漁村発イノベーションに係る政府方針等

○ 農山漁村発イノベーションの推進については、食料・農業・農村基本計画をはじめとして各種の政府方針等において位置づけ。

「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月 閣議決定）

農村を舞台として新たな価値を創出し、所得と雇用機会の確保を図るため、「農村発イノベーション」（活用可能な農村の地域資源を発掘し、磨き上げた上で、**これまでにない他分野と組み合わせる取組**）が進むよう、農村で活動する起業家等が情報交換を通じてビジネスプランを磨き上げることができるプラットフォームの運営など、多様な人材が農村の地域資源を活用して新たな事業に取り組みやすい環境の整備などにより、現場の創意工夫を促す。

「地方への人の流れを加速化させ持続的低密度社会を実現するための新しい農村政策の構築」

（令和4年4月 新しい農村政策の在り方に関する検討会 長期的な土地利用の在り方に関する検討会 とりまとめ）

（前略）今後は、地域全体としての所得向上のため、従来の農業者が加工・販売などにも取り組む6次産業化の取組をこれまで以上に加速化するとともに、その考え方を拡張し、**農村が有する地域資源を発掘し、その価値を磨き上げた上で、農業以外も含む他分野と「農村資源×〇〇」の様々な形で組み合わせることや、地域内外の幅広い関係者との新たな連携、関連産業の技術の活用等により、新たな事業・価値の創出や所得向上を図る取組である「農山漁村発イノベーション」を推進し、**また、その支援の在り方を多面的に検討することが重要である。

新しい資本主義実行計画「フォローアップ」（令和4年6月 閣議決定）

農山漁村発イノベーションのコーディネーターを派遣して、デジタル技術も活用し、2025年度までにモデル事例を300事例創出する。（後略）

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」（令和4年12月 閣議決定）

・多様な形で農に関わる経済主体による所得確保手段の多角化が図られるよう、デジタル技術の活用に係る専門人材の派遣・育成等により、「農山漁村発イノベーション」を推進し、優良事例の更なる横展開を図る。（後略）

観光立国推進基本計画（令和5年3月 閣議決定）

地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律（平成22年法律第67号）に基づく総合化事業計画の認定、農山漁村の活用可能な地域資源を他分野と組み合わせた**「農山漁村発イノベーション」等の取組を推進し、新たな観光コンテンツの造成を含むモデル事例を令和7年度までに300事例創出する。**（後略）

「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」（令和5年6月 食料安定供給・農林水産業基盤強化本部決定）

多様な人材の呼び込みに必要な農村の「しごとづくり」を強化するため、地産地消・6次産業化や農泊など**地域の資源を活用した農山漁村発イノベーションを推進**するとともに、関係人口も交えて地域に根ざした経済活動が安定的に営まれるよう、官民共創の仕組みも活用しながら伴走支援を行う。

農山漁村発イノベーションによる雇用・所得の創出

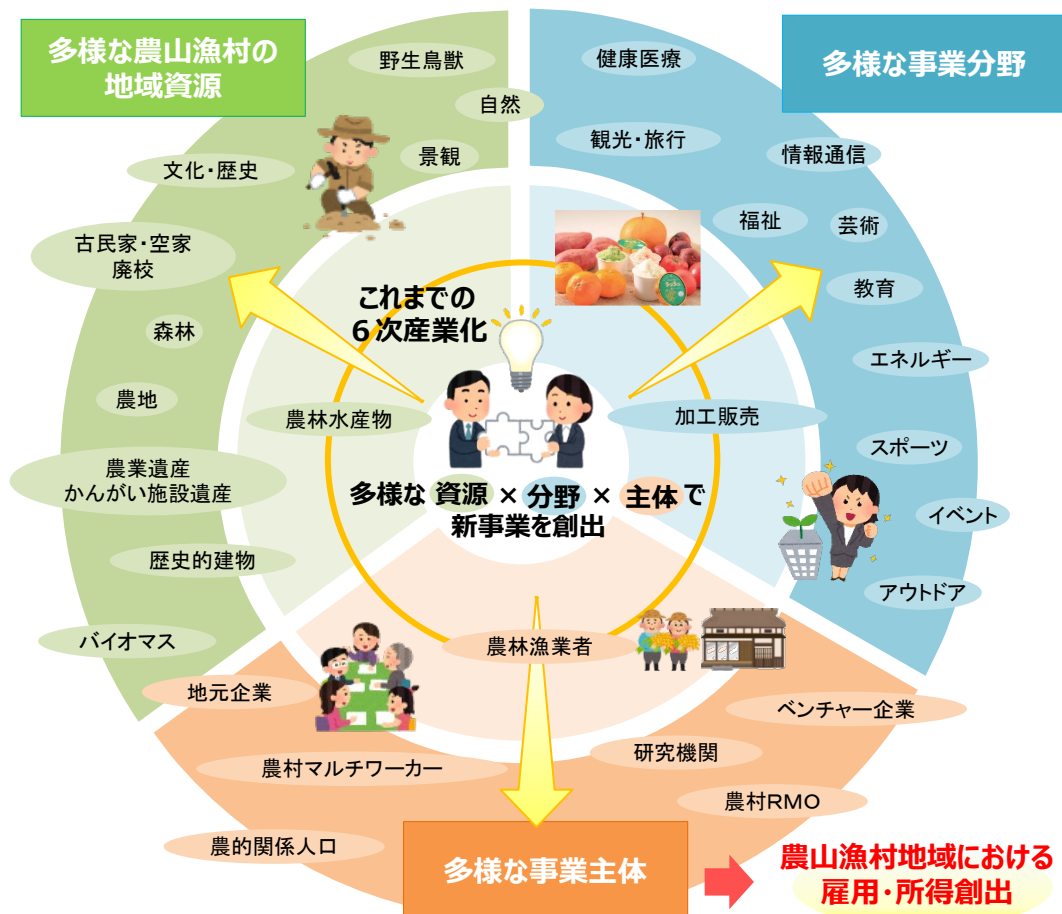
<対策のポイント>

「農山漁村発イノベーション」とは、従来の6次産業化を発展させて、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の**多様な地域資源**も活用し、農林漁業者はもちろん、地元の企業なども含めた**多様な主体の参画**によって**新事業や付加価値の創出**を図る取組です。

<事業の全体像>

農山漁村発イノベーション

- 農山漁村の**あらゆる地域資源**をフル活用した取組を支援
- 他産業起点の取組など**他分野との連携**を一層促進



農山漁村発イノベーションの事例

「農産物、景観」×「加工販売、観光・旅行」 ×「農林漁業者、地元企業」

タケノコや栗の加工販売に加え、美しい竹林景観を活かして、映画のロケ地や観光商品として活用。
(栃木県宇都宮市)



「森林」×「スポーツ」×「ベンチャー企業」

森林をフィールドとしたサバイバルゲーム事業を行うとともに、参加料の一部を森林所有者にも還元。
(栃木県壬生町)



「農産物」×「加工販売、観光旅行、教育」 ×「農林漁業者、地元企業」

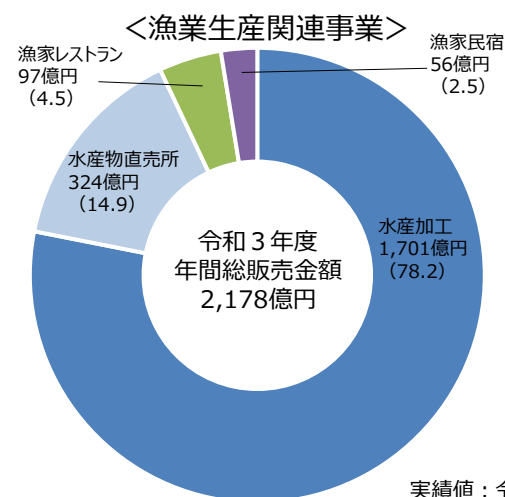
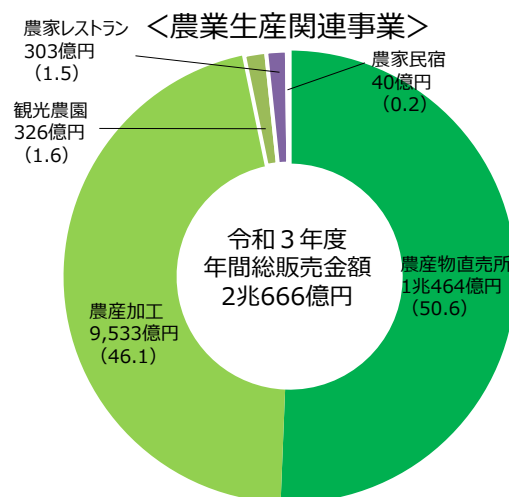
6次産業化による農産加工品の製造・販売のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューの取組を展開。
(長崎県大村市)



農山漁村発イノベーション（6次産業化）の市場規模

- 令和3年度の6次産業化総合調査によれば、6次産業化に相当する農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額のうち、**加工・直売分野が農業生産関連事業では97%、漁業生産関連事業では約93%となっており、直売と加工が大半を占めている。**
- 6次産業化の加工・直売の市場規模は、**令和3年度の合計で約2.2兆円**となっている。

○農業・漁業生産関連事業の年間総販売金額（全国）

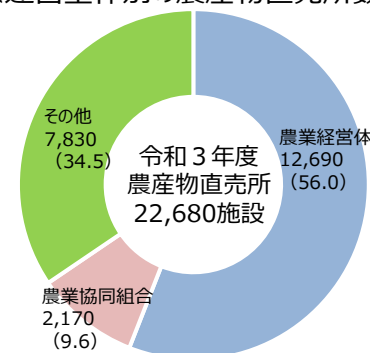


（参考）農産物直売所の現状

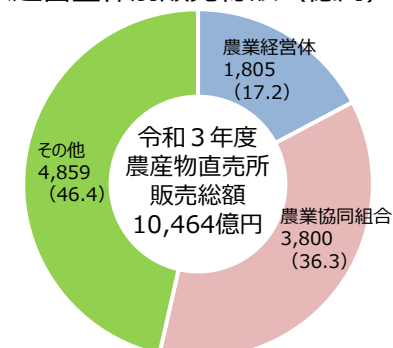
- 直売所は、全国で約23,000カ所、年間総販売額は約1.0兆円。
- 運営主体別販売総額では、直売所全体の56.0%を占める農業経営体の販売総額の割合は17.2%に対し、全体の9.6%である農業協同組合が36.3%。

※四捨五入により計と内訳が一致しない場合がある

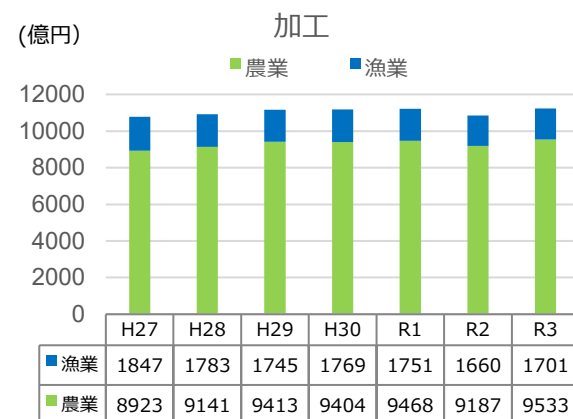
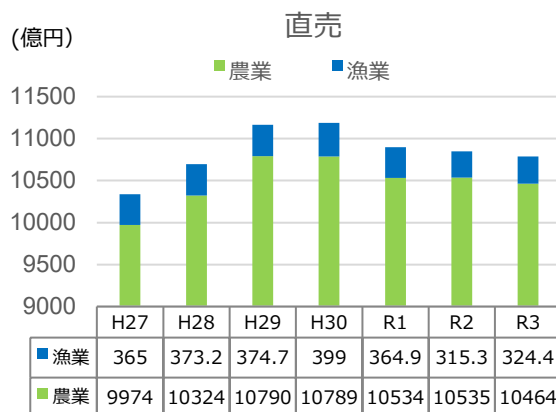
＜運営主体別の農産物直売所数＞



＜運営主体別販売総額（億円）＞



○6次産業化の市場規模の推移



農山漁村発イノベーションに関する支援策

農山漁村振興交付金のうち 農山漁村発イノベーション対策

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

農林水産物や農林水産業に関わる**多様な地域資源を活用し、新事業や付加価値を創出することによって、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る取組等**を支援します。

<事業目標>

農山漁村発イノベーションに取り組んでいる優良事業体数の増加（100事業体〔令和7年度まで〕）等

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業^{※1}

- ① 地域活性化に向けた**活動計画策定**^{※2}、**関係人口創出**、**地域づくり人材育成**、**情報発信**等を支援します。
- ② 地域資源を活用した**商品開発**、**デジタル技術の活用に係る専門人材の派遣・育成**等を支援します。
- ③ **農泊の実施体制の整備**、**観光コンテンツの磨き上げ**等の取組を支援します。
- ④ **農福連携の普及啓発**、**障害者等の農林水産業に係る技術の習得**、**専門人材の育成**等を支援します。

2. 農山漁村発イノベーション整備事業^{※1}

- ① **農産物加工・販売施設**、**地域間交流拠点**等の整備を支援します。
- ② 農泊の推進に必要な**古民家等**を活用した**滞在施設**等の整備を支援します。
- ③ 農福連携の推進に必要な**障害者等**が**作業に携わる生産施設**等の整備を支援します。

※1 旧 地域活性化対策、旧 農山漁村発イノベーション対策、旧 農泊推進対策、旧 農福連携対策を再編
※2 農山漁村振興交付金の全ての対策について活用が可能

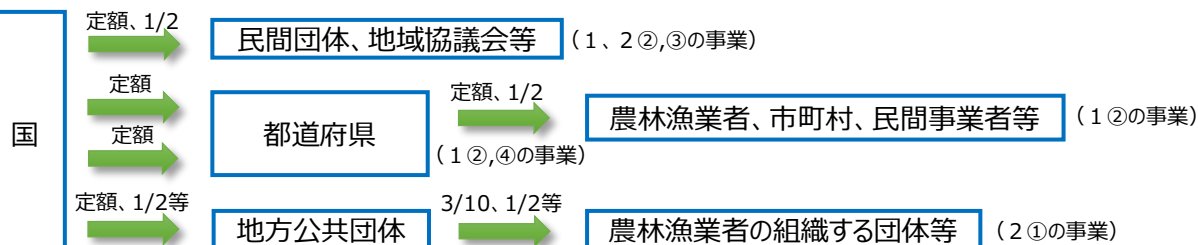
（関連事業）

農山漁村発イノベーション委託調査事業

農山漁村発イノベーション推進に係るエビデンスに基づく**施策企画・立案の充実を図るため、所得創出効果等の施策効果を測定するための委託調査**を実施します。

<事業の流れ>

※下線部は拡充内容



1. 農山漁村発イノベーション推進事業

①地域活性化型



地域住民による地域活性化のための活動計画づくり

②農山漁村発イノベーション創出支援型



地域資源を多分野で活用した商品・サービスの開発

③農泊推進型



景観等を活用した観光コンテンツの開発

④農福連携型



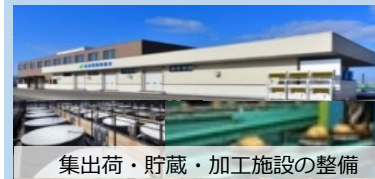
障害者等の農産物栽培技術の習得や専門人材の育成等

2. 農山漁村発イノベーション整備事業

①定住促進・交流対策型産業支援型



農産物直売所の整備



集出荷・貯蔵・加工施設の整備

②農泊推進型



古民家等を活用した滞在型施設の整備

③農福連携型



障害者等が作業に携わる生産施設の整備

【お問い合わせ先】農村振興局都市農村交流課（03-6744-2493）

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち
農山漁村発イノベーション推進事業（地域活性化型）

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

＜対策のポイント＞

農山漁村の自立及び維持発展に向けて、地域住民が生き生きと暮らしていける環境の創出を行うためのきっかけをつくり、農山漁村について広く知ってもらうことを入口に、農的関係人口創出、二拠点居住、移住、定住の実現を図り、農山漁村の活性化を推進します。

＜事業目標＞

地域課題の抽出や、課題解決のための活動計画の策定・実証を行う地域の創出（100地域〔令和6年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 活動計画策定事業

- ① 農山漁村が持つ豊かな地域資源を活用した地域の創意工夫による**地域活性化に向けて、アドバイザーを活用したワークショップ等**を通じた**地域の活動計画策定**を支援します。
- ② **活動計画に掲げられた取組を実施するための体制構築、実証活動及び専門的スキルの活用等**を支援します。
【事業期間：3年間、交付率：定額（上限：1年目500万円、2年目250万円等）※】
※条件不利地においては、交付期間の延長・上限額の加算措置あり。また、専門的スキルを活用する場合には、交付期間の延長・上限額の加算措置あり。

2. 農山漁村関わり創出事業

- ① 農繁期の手伝いや地域資源の保全等の農山漁村での様々な活動について、**農山漁村に興味がある多様な人材が関わることができる仕組みを構築する取組等**を支援します。
- ② 農山漁村の**地域づくりを担う人材（農村プロデューサー）の育成等**を支援します。
【事業期間：上限2年間等、交付率：定額】

3. 農山漁村情報発信事業

農山漁村のポテンシャルを引き出して**地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例の横展開**や、歴史的・文化的背景、景観等を含む**農業・農村の有する多様な価値について主に若年層等を対象とした理解醸成等**のための**情報発信の取組**を支援します。
【事業期間：1年間、交付率：定額】

＜事業イメージ＞



地域の活動計画の策定
（ワークショップの開催）



体制構築及び実証活動
（高齢者の移動確保）



農作業体験



農山漁村の多様な活動への参加

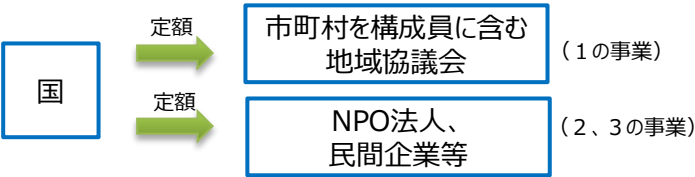


WebサイトやSNSによる
優良事例の情報発信



農業農村の多様な価値の理解醸成

＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】

- (1の事業、2①の事業)
- (2②の事業)
- (3の事業のうち優良事例の横展開)
- (3の事業のうち理解醸成等)

農村振興局都市農村交流課

農村計画課

都市農村交流課

鳥獣対策・農村環境課

(03-3502-5946)

(03-6744-2203)

(03-3502-5946)

(03-6744-0250)

農山漁村発イノベーション推進事業（農山漁村発イノベーション創出支援型）

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

農山漁村発イノベーションを推進し、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図るため、**農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を新分野で活用した商品・サービスの開発**やこれらに係る研究開発、デジタル技術の活用に係る専門的な知識を有する人材の派遣・育成等を支援します。

<事業目標>

農山漁村発イノベーションに取り組んでいる優良事業体数の増加（100事業体〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 農山漁村発イノベーション推進支援事業

農山漁村発イノベーションの実施に必要な経営戦略策定、販路開拓、ビジネスアイデアの創出、研究・実証事業等の取組を支援します。

- （支援対象の取組）
- ① 2次・3次産業と連携した加工・直売の取組
 - ② 新商品開発・販路開拓の取組
 - ③ 直売所の売上向上に向けた多様な取組
 - ④ 多様な地域資源を新分野で活用する取組
 - ⑤ 多様な地域資源を活用した研究開発・成果利用の取組

農山漁村発イノベーション推進支援事業



農産物を利用した新商品開発

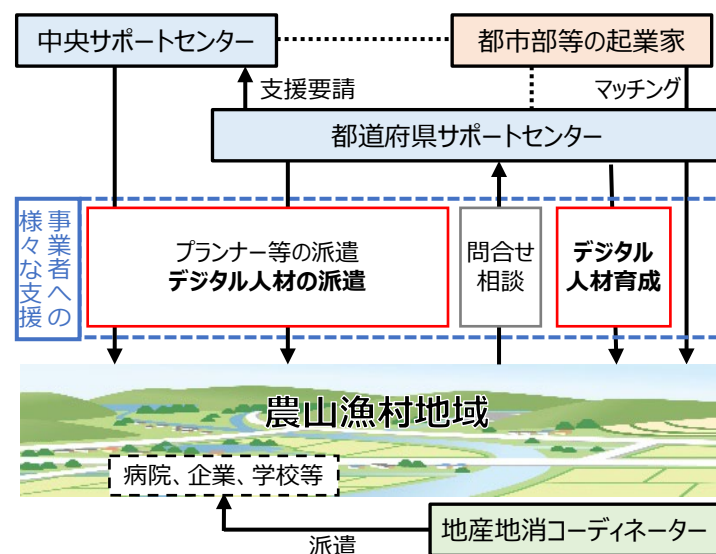


多様な地域資源を新分野で活用

2. 農山漁村発イノベーション中央サポート事業

- ① 中央サポートセンターにおいて、都道府県サポートセンターと連携し、**農山漁村発イノベーションに係る高度な課題を抱える事業者等に対する中央プランナー等の専門家派遣の取組**に加え、**高度なデジタル技術の活用に係る専門的な知識を有する人材（デジタル人材）の派遣**等を支援します。
- ② 農山漁村で**新事業を興す起業家と農山漁村のマッチング**の取組等を支援します。
- ③ 施設給食において、**地産地消を促進するためのコーディネーターの派遣・育成**の取組等を支援します。

農山漁村発イノベーション中央・都道府県サポート事業

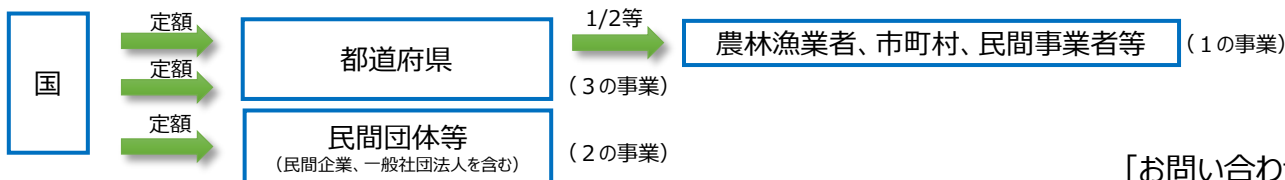


3. 農山漁村発イノベーション都道府県サポート事業

各都道府県のサポートセンターにおける、農山漁村発イノベーションに係る経営改善等の多様な課題を抱える事業者等への専門家派遣に加え、**デジタル人材の派遣、地域におけるデジタル人材の育成の取組**等を支援します。

<事業の流れ>

※下線部は拡充内容



農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型及び産業支援型）

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

農山漁村の自立及び維持発展に向けて、地域資源を活用しつつ、農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の増大を図るために必要となる農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援します。

<事業目標>

- 農山漁村における施設整備による雇用者数の増加（140人〔令和7年度まで〕）
- 6次産業化に取り組んでいる優良事業体数の増加（93事業体〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農山漁村発イノベーション整備事業（定住促進・交流対策型）

都道府県や市町村が計画主体となり、農山漁村における定住・交流の促進、農業者の所得向上や雇用の増大等、農山漁村の活性化のために必要となる**農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備**を支援します。

【事業期間：原則3年間（最大5年間）、交付率：1/2等】

2. 農山漁村発イノベーション整備事業（産業支援型）

農林漁業者等が多様な事業者とネットワークを構築し、制度資金等の融資又は出資を活用して6次産業化に取り組む場合に必要となる、**農産物加工・販売施設等の整備**に対して支援します。

なお、非接触・非対面での作業に対応した加工・販売施設等の整備も可能です。
【事業期間：原則1年間、交付率：3/10等】

再生可能エネルギー発電・蓄電・給電設備については、1又は2の施設整備と同時に設置する場合に加え、**既存の活性化・6次化施設に追加して設置する場合も支援**します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

定住促進・交流対策型

- 計画主体 都道府県、市町村※1 ※1 農山漁村活性化法に基づく活性化計画の作成が必要
- 事業実施主体 都道府県、市町村、農林漁業者団体等



農産物直売所



廃校を利用した交流施設



集出荷・貯蔵・加工施設

産業支援型

- 事業実施主体 農林漁業者団体※2
中小企業者※3

- ※2 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定が必要
- ※3 農商工等連携促進法に基づく農商工等連携事業計画の認定が必要



農産物処理加工施設



農家レストラン

発電設備等の整備



販売・交流施設等



EV車等への給電設備

【お問い合わせ先】

（1の事業） 農村振興局地域整備課 （03-3501-0814）
（2の事業） 都市農村交流課 （03-6744-2497）

農山漁村振興交付金（農山漁村発イノベーション対策）のうち 農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農泊推進型）

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

農山漁村の活性化と所得向上を図るため、地域における**実施体制の整備**、食や景観を活用した**観光コンテンツの磨き上げ**、ワーケーション対応等の**利便性向上**、国内外への**プロモーション**等を支援するとともに、古民家等を活用した**滞在施設**、**体験施設の整備**等を一体的に支援します。

<事業目標>

都市と農山漁村の交流人口の増加（1,540万人〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農泊推進型）

① 農泊推進事業

ア 農泊の**推進体制整備**や観光関係者とも連携した**観光コンテンツの開発**、**Wi-Fi等の環境整備**、新たな取組に**必要な人材確保等**を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：定額（上限500万円/年等）】

イ 実施体制が整備された農泊地域を対象に、**インバウンド受入環境の整備**やワーケーション受入対応、**地元食材・景観等**を活用した**高付加価値コンテンツ開発等**を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：1/2等】

② 広域ネットワーク推進事業

戦略的な国内外へのプロモーション、農泊を推進する上での課題を抱える地域への**専門家派遣・指導**、**利用者のニーズ等の調査を行う取組等**を支援します。

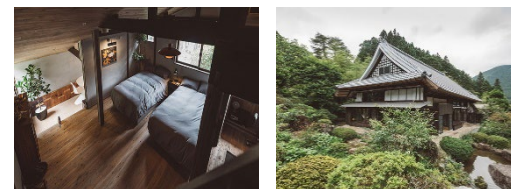
【事業期間：1年間、交付率：定額】



地元食材・景観等を活用した高付加価値コンテンツの開発



課題に応じた専門家の派遣・指導



古民家等を活用した滞在施設の整備

2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農泊推進型）

① 農泊の推進に必要な**古民家等**を活用した**滞在施設**、**一棟貸し施設**、**体験・交流施設等**の整備を支援します。

【事業期間：上限2年間、交付率：1/2（上限2,500万円※）】

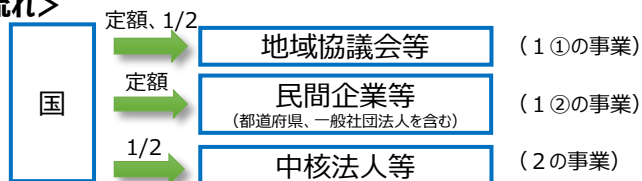
（※ 遊休資産の改修：上限5,000万円、市町村所有の遊休資産を宿泊施設として改修：上限1億円）

② 地域内で営まれている**個別の宿泊施設の改修**を支援します。

（農家民泊から農家民宿へ転換する場合、促進費が活用可能）

【事業期間：1年間、交付率：1/2（上限1,000万円/経営者かつ5,000万円/地域）】

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 農村振興局都市農村交流課 (03-3502-003d) 1

農山漁村発イノベーション推進・整備事業（農福連携型）

【令和5年度予算額 9,070（9,752）百万円の内数】

<対策のポイント>

農福連携の一層の推進に向け、**障害者等の農林水産業に関する技術習得**、障害者等に農業体験を提供する**ユニバーサル農園※**の開設、障害者等が作業に携わる**生産・加工・販売施設の整備**、全国的な展開に向けた普及啓発、都道府県による**専門人材育成の取組**等を支援します。

※ 農業分野への就業を希望する障害者等に対し
農業体験を提供する農園

<事業目標>

農福連携に取り組む主体を新たに創出（3,000件〔令和6年度まで〕）

<事業の内容>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業

障害者等の農林水産業に関する技術習得、作業工程のマニュアル化、**ユニバーサル農園の運用**、**移動式トイレの導入**等を支援します。

【事業期間：2年間、交付率：定額（上限150万円等）】

② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業

農福連携の**全国的な横展開**に向けた取組、**農福連携の定着**に向けた**専門人材の育成**等を支援します。

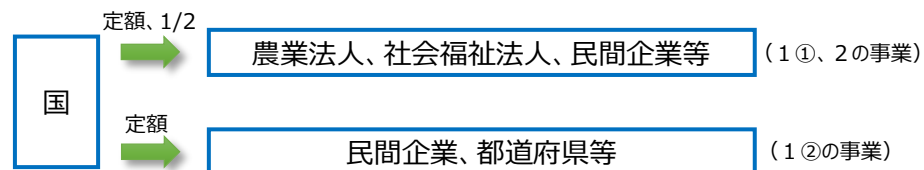
【事業期間：1年間、交付率：定額（上限500万円等）】

2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）

障害者等が作業に携わる**生産施設**、**ユニバーサル農園施設**、**安全・衛生面にかかる附帯施設等の整備**を支援します。

【事業期間：最大2年間、交付率：1/2（上限1,000万円、2,500万円等）】

<事業の流れ>



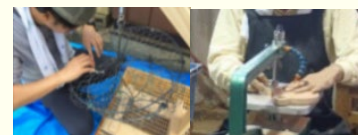
<事業イメージ>

1. 農山漁村発イノベーション推進事業（農福連携型）

① 農福連携支援事業



農産加工の実践研修



養殖籠補修・木工技術習得



移動式トイレの導入



ユニバーサル農園の運用

② 普及啓発・専門人材育成推進対策事業



普及啓発に係る取組



人材育成研修

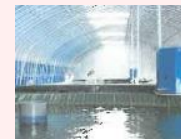
2. 農山漁村発イノベーション整備事業（農福連携型）



農業生産施設（水耕栽培ハウス）



苗木生産施設



養殖施設



休憩所、トイレの整備



園地、園路整備



処理加工施設

農林水産省の起業促進プラットフォーム「INACOME」

- 平成30年秋に農山漁村において地域資源を活用した多様なビジネスの創出を促進するための起業促進プロジェクト「INACOME」(イナカム)を始動。
- 情報交換を通じてビジネスプランの磨き上げや互いに切磋琢磨できる環境を整備するとともに、起業に関する施策の情報発信や**ビジネスプランコンテスト**等を実施。令和4年度は令和5年2月18日にビジネスプランコンテストを開催。
- 令和元年9月末には**オンライン上で起業家や起業支援者が交流できるプラットフォーム**を開設し、令和5年6月現在の加入者数は約2,200名。
- 令和2年からは、**起業家と地域課題のマッチングプログラム**を実施。

Webプラットフォーム

<https://inacome.jp/>



プラットフォームの概要・機能



コミュニティ機能

自分のニーズに合った地域内外のコミュニティに参加して情報交換できる！

メンバー＆支援者検索

全国の同業者や、地域の起業家・支援団体・有識者と繋がることできる！

動画セミナー

起業や事業拡大に役立つセミナーを自宅で受講できる！

事例記事

全国各地の起業・新規事業展開の成功事例を学べる！

イベント案内

経営支援や資金調達支援など様々なイベントの情報が手に入る！

個別相談

起業支援団体の専門家や現役の起業家に経営相談できる！

プラットフォームの活用事例

事業展開に必要なパートナーを探す場として活用

⇒ 市場分析やデザインを強化したい地域起業家からの相談を受けて、事務局がプラットフォーム加入者から候補者を紹介。その後、事務局、相談者、候補者で合意点を模索。

令和4年度開催のビジコンの様子



(11名のファイナリストによる発表)



(表彰式の様子)

R4年度INACOMEビジネスコンテスト受賞事例（農山漁村発イノベーション関係）

最優秀賞

やまさき しげゆき
山崎 繁幸（株式会社Engi）神奈川県横浜市

キャンプde地産地消 「TerroirCAMP（テロワールキャンプ）」



- ・キャンプ場を観光のハブ拠点化して、地方に経済効果をもたらす地方創生プロジェクト「TerroirCAMP」（テロワールキャンプ）を提案。
- ・全国のキャンプ場とJA直売所をマッチングし、予約制で地元農家の農産物がBBQ食材になって配達されるサービスを構築。

優秀賞

たぐち ふさくに
田口 房国（株式会社山共）岐阜県東白川村

森林レンタルサービス forenta



- ・利用頻度の少ない森林空間を都市部の人に年間契約でレンタル。
- ・都市部ではできないリアルな体験を気軽に体感してもらうことで、田舎と都市部が相互に足りないところを補完し合う関係性を構築。
- ・岐阜県からサービスを始め、全国10地域でフランチャイズ展開。

「ディスカバー農山漁村の宝」について

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組



■ 平成26年度の開始以来、286件を選定

- 第6回選定（R1年度）から個人部門を選定。第8回選定（R3年度）から有識者懇談会委員ごとの特別賞を新設するなど、新たな選定方針により実施。

	第1回 (H26)	第2回 (H27)	第3回 (H28)	第4回 (H29)	第5回 (H30)	第6回 (R1)	第7回 (R2)	第8回 (R3)	第9回 (R4)	計
選定 件数	23	27	30	31	32	36(5)	32(4)	38(4)	37(4)	286(17)
グランプリ (GP)・ 優秀賞等	-	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 1	G P 8
		特別賞3	特別賞4	特別賞5	特別賞5	部門賞5	部門賞5	優秀賞等 15	優秀賞等 15	優秀賞等 57

・()は個人の選定件数

■ 有識者懇談会により選定地区を決定

- 有識者懇談会には、有識者のほか、内閣官房長官、農林水産大臣、地方創生担当大臣、内閣官房副長官が御出席

有識者懇談会委員

あん・まくどなると	上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授
今村 司	(株)読売巨人軍代表取締役社長
織作 峰子	大阪芸術大学教授、写真家
田中 里沙	事業構想大学院大学学長
永島 敏行	俳優、(有)青空市場 代表取締役
林 良博(座長)	国立科学博物館顧問、東京大学名誉教授
藤井 大介	(株)大田原ツーリズム代表取締役社長
三國 清三	オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
向笠 千恵子	フードジャーナリスト、食文化研究家
横石 知二	(株)いもどり 代表取締役社長

(五十音順、敬称略)

■ 受賞体系（第9回選定）



「ディスカバー
農山漁村の宝」
特設ホームペー
ジはこちら



■ 総理大臣官邸で選定証授与式と交流会を開催

(写真は第9回選定、令和4年12月)



農林水産大臣、内閣府大臣政務官と
記念撮影



内閣総理大臣と選定地区の交流



内閣総理大臣、内閣官房長官等と
選定地区代表者で全体記念撮影

■ 知名度向上等に向けて多様な取組を実施



専用WEBサイト、SNSによる情報発信
(平成31年4月～)



これまでの選定地区が一室に会したサミットの開催
(令和元年6月 @東京ミッドタウン)



「ディスカバー農山漁村の宝」(第9回選定) 選定地区一覧

四国
【棚田保全、デジタル化、農村環境・景観保全】
No.28 徳島県 上勝町
かみかつ棚田未来づくり協議会
【水産業、デジタル化】
No.29 徳島県 海陽町
株式会社リプル
【6次産業化、農泊】
No.30 香川県 三木町
株式会社山南宮農組合
【シビエ、森林・林業、若者の活躍】
No.31 高知県 高知市
高知商業高等学校 シビエ商品開発・販売促進部
【6次産業化、企業との連携、雇用】
No.32 高知県 四万十町
株式会社四万十ドラマ

中国
【移住・定住、農村環境・景観保全、若者の活躍】
No.23 鳥取県 鳥取市
NPO法人 bankup
【農村文化体験、グリーン化、食育・教育】
No.24 島根県 奥出雲町
大石 亘太
【企業との連携、グリーン化】
No.25 岡山県 岡山市
瀬戸内かきからアグリ推進協議会
【6次産業化、棚田保全、農村環境・景観保全】
No.26 岡山県 久米南町
上舩みろく農場協議会
【農業、6次産業化、雇用】
No.27 広島県 三次市
川西自治連合会

近畿
【農泊、農村文化体験、地産地消】
No.20 京都府 伊根町
伊根浦地区農泊推進地区協議会
【農村環境・景観保全、教育機関との連携】
No.21 兵庫県 三木市
東播用水土地改良区
【企業との連携、教育機関との連携、若者の活躍】
No.22 和歌山県 有田川町
有田川町×龍谷大学

関東
【6次産業化、地産地消】
No.09 栃木県 那須町
稲作本店
【雇用、地産地消】
No.10 千葉県 鋸南町
きよなん株式会社
【農村文化体験、棚田保全、農村環境・景観保全】
No.11 長野県 上田市
稲倉の棚田保全委員会
【輸出、棚田保全、雇用】
No.12 長野県 伊那市
株式会社 Wakka Agri

北海道
【農業・水産業、農泊】
No.01 北海道 網走市
オホーツク農山漁村活用体験型 ツーリズム推進協議会
【6次産業化、若者の活躍】
No.02 北海道 士別市
株式会社イナソーファーム
【地産地消、デジタル化】
No.03 北海道 恵庭市
恵庭かのな協同組合
【農泊、農村環境・景観保全】
No.04 北海道 美瑛町
一般社団法人丘のまちびえい活性化協会

東北
【6次産業化、関係人口の創出】
No.05 岩手県 西和賀町
ユキノチカラプロジェクト協議会
【農村文化体験、移住・定住】
No.06 宮城県 栗原市
一般社団法人はなやまネットワーク
【地産地消、関係人口の創出、6次産業化】
No.07 宮城県 丸森町
八島 哲郎
【復興、6次産業化、輸出】
No.08 宮城県 山元町
株式会社やまもとファームみらい野

九州・沖縄
【農泊、農村文化体験】
No.35 鹿児島県 南九州市
瀬川 知香
【農村文化体験、地産地消、関係人口の創出】
No.36 鹿児島県 鹿郷町
一般社団法人 E'more秋名
【6次産業化、荒廃農地対策、農福連携】
No.37 沖縄県 今帰仁村
株式会社沖縄UKAMI養蚕
【農村環境・景観保全、教育機関との連携】
No.33 熊本県 熊本市
天明環境保全隊
【6次産業化、農福連携、グリーン化】
No.34 熊本県 小国町
社会福祉法人小国町社会福祉協議会

東海
【6次産業化、地産地消】
No.16 岐阜県 恵那市
株式会社恵那川上屋
【6次産業化、農泊、棚田保全】
No.17 愛知県 岡崎市
岡崎市めかたブランド協議会
【6次産業化、農福連携、地産地消】
No.18 愛知県 犬山市
株式会社ココトモファーム
【地産地消、伝統の継承】
No.19 愛知県 大府市
高木 幹夫

北陸
【農村環境・景観保全、スポーツとの連携、デジタル化】
No.13 新潟県 十日町市
NPO法人越後妻有里山協働機構
【6次産業化、農村環境・景観保全】
No.14 石川県 羽咋市
株式会社神子の里
【農業、シビエ】
No.15 石川県 白山市
里山総合会社山立会

- : 「ビジネス・イノベーション部門」
- : 「コミュニティ・地産地消部門」
- : 「個人部門」



計：37地区

ユキノチカラプロジェクト協議会

【農山漁村発イノベーション関係の受賞事例】

地域資源：農林水産物、文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント

事業主体：協議会（町内事業者）

- 「豪雪」をデザインの力で「魅力」へ変えるという新たなコンセプトの下、西和賀町の地域ブランドを企画運営。町内事業者、自治体、信用金庫、デザイナー等が連携し、6次化商品の開発やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：岩手県西和賀町
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）ビジネス・イノベーション部門
 - ・2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 地方創生担当大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・農産物（米、ワラビ、牛乳、野菜等）加工品
 - ・雪体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・県立西和賀高校魅力化プログラム

取組の概要

- 西和賀町、北上信金、デザイナー等と連携し、地域資源を活用した加工品などの商品開発を行い、ユキノチカラブランドで販売促進、シティプロモーションにも繋げる。
- 雪あかりやかんじきトレッキングなど、雪国文化を体験できる「ユキノチカラツアー」を実施し、首都圏等からの誘客。
- 地元高校と連携した社会学習プログラム「西和賀高校×ユキノチカラ『魅力発見ラボ』」を実施し、人材育成も含めた地域の課題解決と魅力発信に取り組む。



ユキノチカラツアー

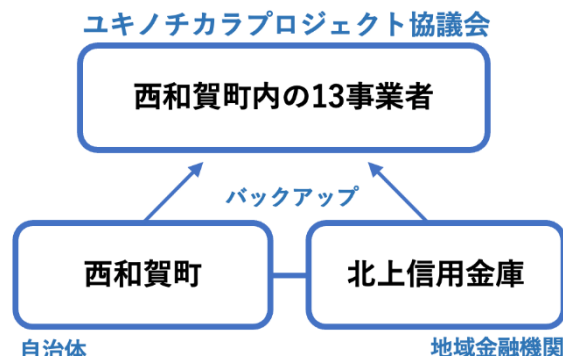


ユキノチカラブランド商品群



魅力発見ラボ

体制図



取組の成果

- 開発した商品数：13事業者30種類以上
- 西和賀町ふるさと納税の企画及びPRを担当し、認知向上に向けた地域ブランド（町内の産業・商品）のプロモーションを開始。（R5～）

ウェブサイト▶<https://yukino-chikara.com/>

この情報は令和5年6月時点のものです

- 「大地の芸術祭」や棚田オーナー制度による都市住民のほか、女子サッカー選手など多様な人材により棚田を保全するとともに、地域活性化に貢献。

基本情報

- 所在地：新潟県十日町市
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - コミュニティ・地産地消部門 特別賞
- 主力商品・イベント：
 - ・大地の芸術祭
 - ・棚田オーナー制度「まつだい棚田バンク」
 - ・女子サッカーチーム「FC越後妻有」
- 活用した支援施策：
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・農の雇用事業

取組の概要

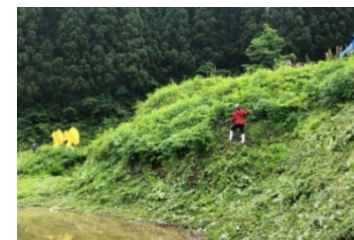
- 「大地の芸術祭」のプロジェクトの1つとして、2003年「まつだい棚田バンク」を発足し、その後本格組織化。棚田オーナー制度や芸術祭を通じて都市住民など多様な人が棚田を保全する活動を開始。
- 全国リーグを目指す女子サッカーチーム「FC越後妻有」をつくり、女子サッカー選手が農業の担い手となる一方で、サッカー教室や講演を実施し、多数のメディアに掲載され地域の活性化に寄与。
- ドローン、水位センサー等のスマート農業の導入により作業負担を軽減。



田植えをするサッカー選手

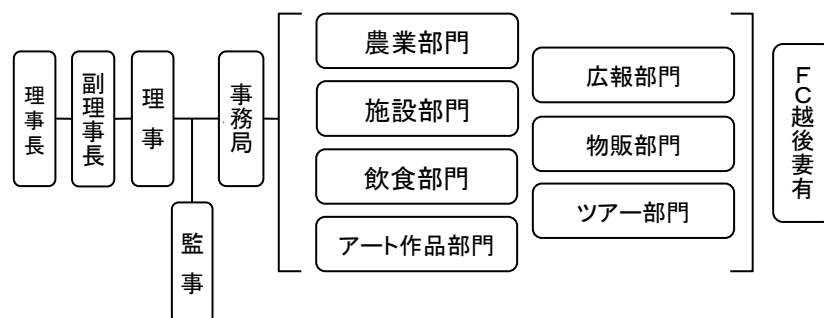


ドローンを利用した農薬散布



芸術作品を設置する棚田の整備

体制図



取組の成果

- 棚田バンク会員口数※：774口（H29）→ 919口（R3）→ 1106口（R4）
- 地域外からの農業担い手としての移住者：17名（H21～R4）

※小口換算

○なめこ本来の味を堪能できる「木滑なめこ」の栽培のほか、^{きなめり}荒廃農地で放牧飼育された羊、捕獲したジビエ等を提供する食堂・ECサイトなど経営を多角化することで「里山の活性化と多様な課題への対応」を実現。

基本情報

- 所在地：石川県白山市
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - ・ビジネス・イノベーション部門
 - ・スタートアップビジネスプランコンテスト
 - ・いしかわ2019ファイナリスト
- 主力商品・イベント：
 - ・でけえなめこ
 - ・羊肉（白山サフォーク）
 - ・ジビエ
- 活用した支援施策：
 - ・事業再構築補助金（食堂）
 - ・農業機械施設整備事業（なめこ）
 - ・クラウドファンディング（羊）

取組の概要

- 「里山総合会社」の体制を構築し、ビジネスの力で里山を活性化するために、里山における多角経営と、視察研修等による情報発信を実施。
- 菌床なめこ生産を中心に、羊の飼育・販売、ジビエ販売、里山食堂、ネット通販、野生動物調査など、里山を舞台とした多角的な事業を展開。
- 羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全に貢献。
- 全国のジビエ関係者と共同でジビエ普及や安定供給の仕組みづくりを開始。



特大サイズの“でけえなめこ”



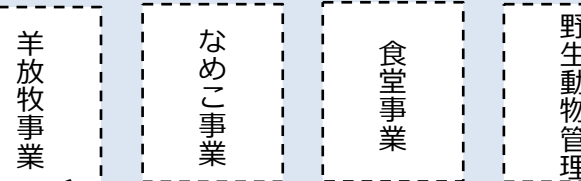
荒廃農地での放牧飼育



食堂で提供のジビエメニュー

体制図

里山総合会社 山立会



石川県立大学
金沢工業大学

地元企業・旅館・飲食店

他地域の
ジビエ関係者

取組の成果

- なめこの売上：約90万円（H30）→ 約3,600万円（R4）
- 羊放牧やジビエ普及による里山の景観・環境保全
- 山立会食堂の売上：約570万円（R3）→ 約750万円（R4）

ウェブサイト▶<https://yamadachi.com/>

伊根浦地区農泊推進地区協議会

地域資源：農林水産物、舟屋、文化

事業分野：食品、観光・旅行

事業主体：協議会（町、農林漁業者、酒蔵、金融機関等）

○地域内に230軒立ち並ぶ舟屋を活用した宿泊施設と食事施設を整備。宿泊と食事を別施設で提供する「泊食分離」の実現によって宿泊施設の開業を促進。

基本情報

- 所在地：京都府伊根町
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）ビジネス・イノベーション部門優秀賞
 - ・第13回観光庁長官表彰（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・舟屋を活用した農泊
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 平成30年に協議会を設立し、宿泊施設や飲食店などの観光関連施設だけでなく、生産者や金融機関など多分野の事業者と連携し、農泊を推進。
- 生活の一部を切り取った体験として、個人宅での小さな漁業「もんどり」体験や漁具づくり体験、刺身づくり体験などを提供。海と寄り添った暮らしの中に息づく持続可能な日常を通じて、海の豊かさや魚介類の品質の良さを味わうことができる滞在型観光を推進。



伊根湾の「舟屋」

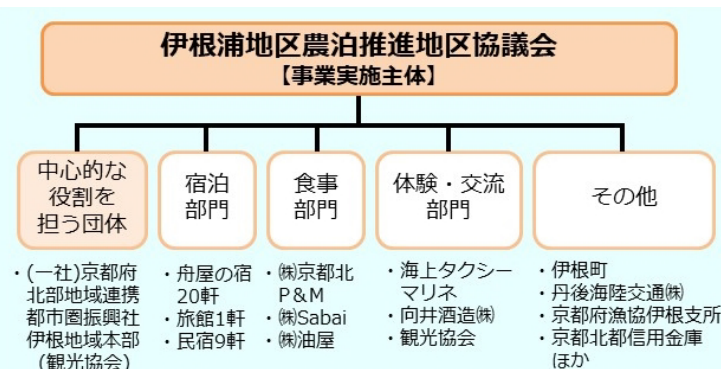


舟屋を改修した宿泊施設



小さなかご網漁「もんどり」体験

体制図



取組の成果

- 宿泊施設の売上：約8千万円（H29）→ 約1.9億円（R4）
- 宿泊施設数：15軒（H29）→ 30軒（R4）
- のべ宿泊数：約6千人（H29）→ 約1万3千人（R4）

ウェブサイト▶ <https://www.ine-kankou.jp/first>

地域資源：農林水産物、廃校、荒廃農地
事業分野：福祉、健康・医療
事業主体：就労支援事務所、地元企業

○地域の生物資源「エリ蚕（神樹蚕）」から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化してフランスや中国にも進出。養蚕と飼料生産に廃校と荒廃農地を活用するほか、養蚕施設の整備や飼料生産のために高齢者雇用、蛹と繭の選別のために農福連携に取り組むなど、地域の資源と人材を活用。

基本情報

- 所在地：沖縄県今帰仁村
- 選定表彰：
 - ・第9回ディスカバー農山漁村の宝（R4）
 - ・ビジネス・イノベーション部門 グランプリ
- 主力商品・イベント：
 - ・シルク製品（化粧品、ダイエット食品等）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 今帰仁村内の廃校舎を活用し、エリ蚕の養蚕を開始。エリ蚕の餌のキャッサバ栽培圃場は耕作放棄地を活用しており、現在2.4haを借り受け、遊休地解消に貢献。
- 高齢者雇用のほか、養蚕の作業である蛹と繭（＝シルク）との分別を就労支援事業所と連携して実施。高齢者、障害者の活躍の場を広げ所得向上に貢献。
- フランスで自社ブランド「VILANJE（ヴィランジェ）」商品の販売を開始。R元年6月に国内大手通販会社、R3年12月に大手百貨店（東京・名古屋）、R4年6月には名古屋市に販路を拡大。R2～4年度はコロナ禍の影響を受けたが、中国にリアル店舗を持つ大手百貨店越境ECサイトでの販路を獲得し、発信を続け認知度向上につなげている。



廃校を活用した作業場



荒廃農地を活用したキャッサバ畑

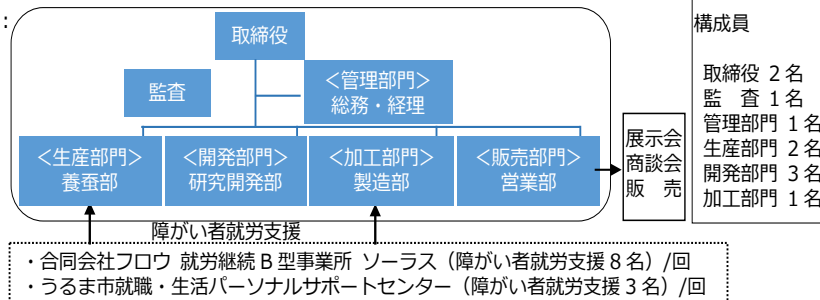


フランスでの
自社ブランド商品

体制図

設立年：平成18年4月（沖縄県へ本店移転 平成25年4月）

組織図：



取組の成果

- 売上：約400万円（R1）→ 約1,600万円（R4）
- 荒廃農地の活用：1.3ha（H29）→ 3.7ha（R4）
- 就労支援B型事業所との連携：10回（H29）→ 26回（R4）
- 高齢者雇用数：2人（H29）→ 5人（R4）

ウェブサイト▶<https://www.ukami.co.jp/>

農山漁村発イノベーションの事例

○平成12年に農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。農産加工品の製造・販売（6次化）のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。雇用拡大などを実現。

基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 選定表彰：
 - ・令和3年度農林水産祭「天皇杯」多角経営部門
 - ・令和2年度6次産業化優良事例表彰 農林水産大臣賞
 - ・「ディスカバー農山漁村の宝」第6回選定（R1）
 - ・平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用した支援施策：
 - ・農業構造改善事業（施設立ち上げ時）

取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシュ」を開業。
- 地元農産物(生鮮品)のほか、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングやレストランウェディングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。
- 大村市のふるさと納税の返礼品として、農産物の詰め合わせや加工品等を出品。



おおむら夢ファームシュシュ

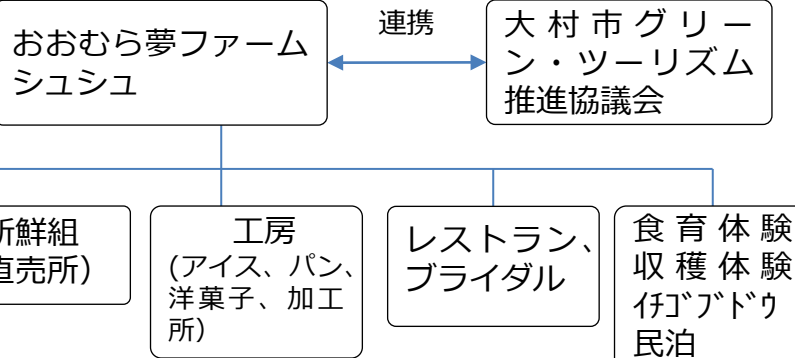


地元産の農産物を使用したジェラート



農産物を使用したオリジナル加工品

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高：3.2億円（H26）⇒ 3.9億円（H30）
- 年間集客数：約49万人（H30）
- 食育・農業体験者数：約3万人（H30）
- 従業員：年間100名以上（季節雇用含む）
- 常時雇用職員の女性割合：8割

ウェブサイト▶<http://chouchou.co.jp/>

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

地域資源：農林水産物、酒蔵、日本酒文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント

事業主体：宿泊施設、食事施設、体験施設、生産者、酒蔵

- 酒蔵に蔵人として宿泊滞在し、日本酒造りを体験できる世界初の酒蔵ホテル®を開設し、インバウンドを誘致。
- 佐久地域の新たな冬のキラコンテツとして、日本酒文化の神秘性、繊細な製造プロセスの魅力を国内外に発信。

基本情報

- 所在地：長野県佐久市
- 選定表彰：
 - ・「食かけるプロジェクト」2020食かける賞
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・SAVOR JAPAN認定(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・酒蔵ホテル®
 - ・日本酒造り体験（2泊3日/ 10月～3月）
 - ・麴造り体験（1泊2日/ 4月～9月）
- 活用した支援施策：
 - ・令和元年度 農山漁村振興交付金（農泊推進事業、人材活用事業）

取組の概要

- 非観光地である佐久地域への来訪、宿泊滞在を促すため、蔵人体験プログラムは1泊2日または2泊3日にて実施。泊食分離で地域経済の活性化に貢献。
- 蔵人体験は英語同時通訳にて実施、ウェブサイト、セミナー資料等も全て英語併記。
- 酒蔵での本格的な蔵人体験（2泊3日）の提供に加え、酒蔵契約農家と連携して「酒米づくりからの酒造り、酒蔵レストラン運営」をテーマにした年間プログラムも体験コンテンツ化し、日本酒ツーリズムを6次産業化として捉え他地域との差別化に注力。



蔵人として本格的な酒造りを体験する参加者



築100年の蔵人の宿舎を宿泊施設にリフォームした「酒蔵ホテル」



周辺飲食店で実施している着地型旅行商品

体制図

SAKU酒蔵アグリツーリズム推進協議会

中核法人

・橘倉酒造(株)
・(株)KURABITO STAY

宿泊部門

・佐久ホテル
・KURABITO STAY

食事部門

・お料理れもん
・ともせん手打処
・若松食堂
・ピックベン
・鳥忠食堂
・灯雲（焼き鳥）
・クロワサンス
・ウマバル

体験・交流部門

・地域内の酒蔵（日本酒セミナー、蔵見学）
・蔵元契約農家（酒米田植え体験）
・お料理れもん（寿司握り体験）
・ともせん手打処（そば打ち体験）
・ぬのや（着付け体験）

その他

・行政（広報支援）

取組の成果

- 蔵人体験人数：延320人（R4年度 ※R5.3月時点）
- 国内在住の外国籍の顧客（約1割）も含め、顧客満足度は高い（満足度100%）。R4年10月～インバウンド参加が増加、R5年2～3月はインバウンド比率50%達成。（世界16か国から）
- リピーターも多く、インバウンドリピーターも誕生している。

ウェブサイト▶<https://sakusake-tourism.com/>

○地域の間伐材を使った菌床により、しいたけや はなびら茸 等の栽培・販売を行うとともに、廃菌床を土壌改良材や燃料等に循環利用。高齢者や障害者の雇用も推進。

基本情報

- 所在地：富山県高岡市
- 主力商品：
 - ・ 菌床しいたけ
 - ・ 菌床はなびら茸
 - ・ 菌床きくらげ
 - ・ 各種加工品
- 活用した支援施策：
 - ・ 6次産業化ネットワーク活動交付金



【主力商品】
しいたけ（奥）
はなびら茸（手前）
※はなびら茸は幻のきのこ
と呼ばれ食物繊維の一種
であるβグルカンが豊富で
コリコリとした食感が特徴

取組の概要

- しいたけ・はなびら茸・きくらげを菌床から栽培、販売までを一貫体制で運営。
- 菌床の材料は、県西部産を中心とした広葉樹の間伐材を使用。栽培後の菌床は圃場にまき、元の木くずに戻すことで肥料や休耕地の土壌改良材としたり、固形燃料に使用したり様々な用途での再利用を検討。
- しいたけ・きくらげについては、有機JAS認証取得に向け取組中。
- 施設内の空調等エネルギーは、環境に配慮した地中熱システムや太陽光発電を利用。
- 高齢者や障害者を積極的に雇用、外国人技能実習生の受入も実施。



栽培施設の外観と内部

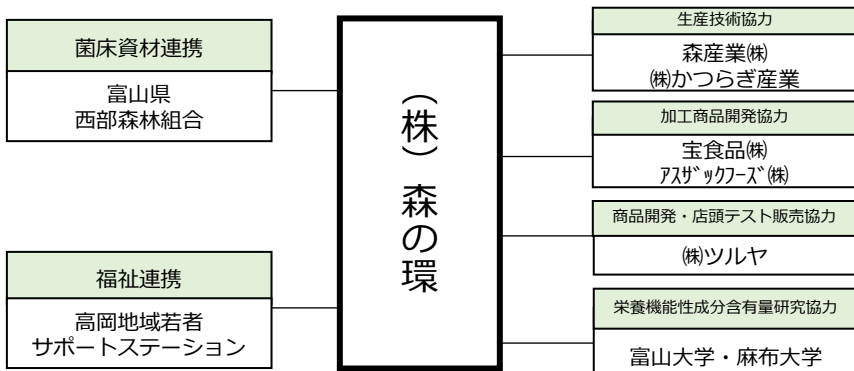


廃菌床（肥料や休耕地の
土壌改良材に再利用）



地中熱システム(左)と太陽光発電(右)
を併用したクリーン工場

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高増加：362百万円（H29）→ 646百万円（R4）
- 有機JAS認証の菌床しいたけの国内流通はまだ少量。その付加価値に共感される量販店(消費者)からの問合せも増えており更なる増収に期待。
- 障害者にも優しい証「もにす認定」を取得(R4.10)、4名(R4)が従事。
※もにす認定：障害者雇用の促進及び雇用の安定に関する取組の実施状況などが優良な中小事業主を厚生労働大臣が認定する制度。
- 従業員130名の約7割が女性。また、1割超が70歳以上。外国人技能実習生12名(R4)も受け入れ。

ウェブサイト▶ <https://morinowa.co.jp/>

○400年にわたり高品質な梅を持続的に生産するみなべ・田辺地域は、薪炭林（ウバメガシなどの広葉樹）による水源涵養^{かんよう}や崩落防止等の機能保持、ニホンミツバチの生息環境の提供、高品質な「紀州備長炭」の生産への寄与により、「世界農業遺産」に認定。ワーケーションと結び付けることで、梅収穫期の労働者確保と交流人口の増加を実現。

基本情報

- 所在地：和歌山県みなべ町、田辺市
- 選定表彰：
 - ・平成27年12月世界農業遺産認定
- 主力商品・イベント：
 - ・南高梅、紀州備長炭
 - ・梅まつり・観梅（2月）
 - ・梅収穫ワーケーション（5～7月）
- 活用した支援施策：
 - ・みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会
運営活動費 地方創生推進交付金（内閣府）

取組の概要

- 「農業遺産」と「ワーケーション」を結びつけた「梅収穫ワーケーション」をみなべ町にて実施※1 ※2。
- 梅収穫時期に都市部からワーケターを募り※3、仕事の合間に梅農家の作業を手伝ってもらうことで、農家の作業負担が軽減されるとともに、都市部の人々との新たな交流にも貢献。
- SNS上でワーケーションの周知、応募フォームの掲載、参加者への説明会・意見交換会を実施。ワーケターの滞在期間及び作業時間に合わせて梅農家とマッチング。

※1 運営主体：R4年度 Team WAAI、
R5年度（一社）日本ウェルビーイング推進協議会 世界農業遺産活性化プロジェクト

※2 旅費・宿泊費などは参加者負担

※3 R4年度は1か月間（6月）、R5年度は3か月間（5～7月）

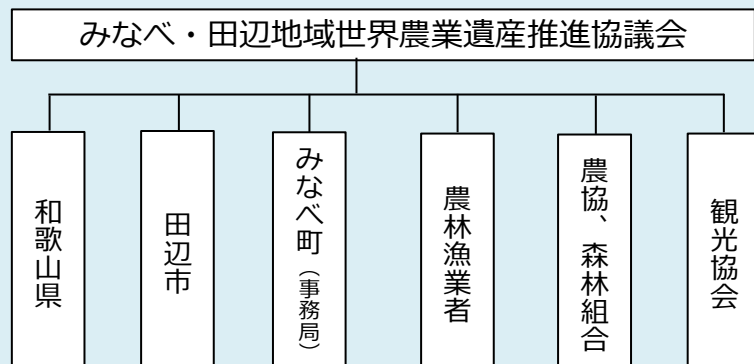


南高梅



梅収穫ワーケーション

体制図



取組の成果

- ワーケーション参加人数：のべ240人、11軒の農家が受け入れ（R4）
- 梅収穫の総活動時間：1,356時間
（時給1,500円換算で約200万円の人件費削減）
- 梅収穫ワーケーションから学ぶ講演会を開催
- ワーケーション開催期間の拡大：1か月（6月）（R4）→3か月（5～7月）（R5）

ウェブサイト▶<https://www.giahs-minabetanabe.jp/>

稲倉の棚田保全委員会

地域資源：農林水産物、景観、文化

事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア、イベント

事業主体：農林漁業者、JA、企業、大学、地域おこし協力隊 他

- 「棚田米オーナー制度」のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開し、棚田の保全に加え、都市と農村の交流に取り組む。

基本情報

- 所在地：長野県上田市
- 選定表彰：
 - ・令和4年度農林水産祭むらづくり部門 天皇杯、農林水産大臣賞
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞
- 主力商品・イベント：
 - ・棚田米
 - ・体験観光事業
- 活用した支援施策：
 - ・県営中山間総合整備事業「殿城地区」
 - ・中山間地域等直接支払交付金
 - ・多面的機能支払交付金

取組の概要

- 減農薬栽培を行い、昔ながらの「はざかけ」でゆっくり天日干した棚田米を地元店舗や直売所等で販売するほか、上田市のふるさと納税の返礼品として提供。
- 棚田オーナー制度のほか、地元酒造会社と連携した「酒米オーナー」や気軽に保全活動に参加できる「棚田ファン」など消費者ニーズに合わせた農業体験コースを展開。地元企業とのパートナーシップ協定も締結。
- 農閑期の棚田を有効活用した棚田キャンプやノルディックウォーキングイベントなど棚田の地形を生かしたイベントも開催、観光客を誘致。



棚田オーナーによる田植え

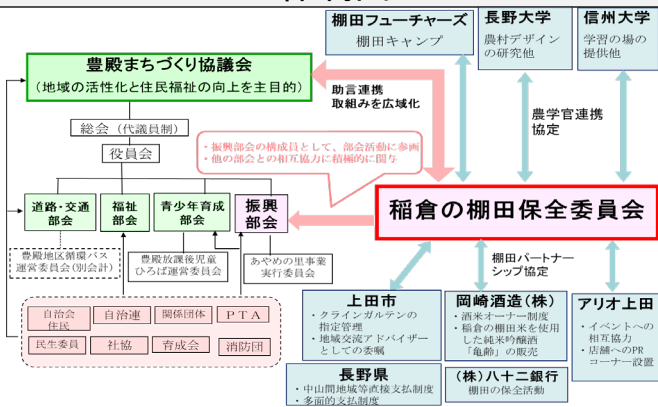


酒米オーナー制度



秋の田んぼでキャンプ風景

体制図



取組の成果

- 棚田米の販売額：300万円
- 棚田オーナー：70組（H29）→ 175組（R5）
- 棚田キャンプ参加者：31組（H29）→ 97組（R3）
- 棚田への観光客：年間2万人超

ウェブサイト▶<https://inaguranotanada.com/>

- 宇都宮北部に24haの圃場を有し、竹、タケノコ、栗を栽培しつつ、その管理された竹林を観光資源として一般開放
- 竹林の美しさから、栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションと連携し、ロケ地としても利用。

基本情報

- 所在地：栃木県宇都宮市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R3）
 - ・ ふるさと文化財の森認定（R4年度、R5.3）
 - ・ 栃木県農業大賞 農村活性化の部 栃木県知事賞（R1）
 - ・ とちぎ地産地消夢大賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ タケノコ・栗・加工品・竹材・竹植木苗
 - ・ 農業体験ツアー（収穫、竹工作体験等）
 - ・ 撮影・イベント場所の貸出
 - ・ 竹林観光事業（竹林キャンプ事業含む）
- 活用した支援施策：
 - ・ ものづくり生産性向上促進補助金(5次)
 - ・ 第三回令和2年度 事業再構築補助金

取組の概要

- 地域のシェフと連携したタケノコ加工品の開発、菓子メーカーと連携した栗菓子の開発のほかメンマ業界パイオニア事業者と国産メンマ開発などを実施。
- タケノコや栗の収穫体験に加え、間伐した竹で水鉄砲、弓矢や竹灯りなどを工作する「竹に触れて竹を好きになってもらう」農業体験ツアーを実施。
- 竹林の景観を評価され、撮影ロケ地として多くの作品で利用。栃木県・宇都宮市のフィルムコミッションとも提携し、地元の知名度アップにも貢献。
- 竹林の散策、竹器でお抹茶、竹林ライトアップや、ハンモック TENT を竹の間に吊るし竹林で夜をあかすキャンプ事業など観光事業をスタートし、地域連携・周遊を促す。
- さらに、竹の魅力を伝える展示館、旬料理を楽しめる農家レストランをR5.4オープン の予定。



竹林の景観

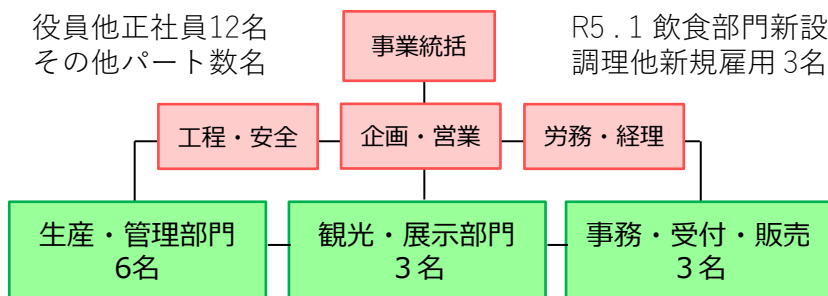


タケノコの6次化商品



竹林でのキャンプ事業

体制図



取組の成果

- 農産物、6次化商品の売上：4,500万円（H28）→ 7,900万円（R4）
- 竹林を活用した事業の売上：600万円（H28）→ 6,400万円（R4）
- 入場者数：4千人（H28）→ 1万人（H29）→ 8万人（R4）

※農産物売上には、竹材・竹植木苗を含む。6次化商品売上には他社6次化商品仕入を含む
竹林活用事業のH28年度は撮影と収穫体験のみ、翌H29年から観光化、R4年度は見込み

ウェブサイト▶<https://www.wakayamafarm.com/>

- 雪国の暮らし体験ツアーのほか、ハラルやベジタリアン向けにアレンジした伝統食等の観光プログラムにより国内外の観光客を誘致するとともに、関係人口構築アプリを運用し、地域とのつながりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域とのマッチングにも取り組む。

基本情報

- 所在地：新潟県湯沢町
- 選定表彰：
 - ・INACOMEビジネスコンテスト ファイナリスト (R1)
 - ・新潟企業チャレンジ ビジネスプランコンテスト 優秀者 (H30)
 - ・観光庁 観光地域づくりマネージャー
- 主力商品
 - ・コワーキング、温泉・サウナ/宿泊施設運営
 - ・ハラル/ベジタリアン等、様々な文化背景の観光客に対応したユニバーサルデザインの着地型ツアー
 - ・観光DXツール/アプリケーションの開発
- 活用した支援施策：
 - ・始動 Next Innovator プログラム
 - ・INACOMEアプリケーション

取組の概要

SNOWSAFARI(株)：持続可能な観光地域づくりをテーマに活動

- 雪国の暮らし体験ツアーや地元農産物を使用した伝統食、発酵食をハラルやベジタリアン向けにアレンジし提供する等の観光プログラムを構築。
- 空き家や廃業した温泉宿等の改修を行いゲストハウスやコワーキングとして運営。コワーキングスペースをプラットフォームとして提供し、長期滞在するノマドワーカーの誘致等により地域の関係人口及び移住者の増加に貢献。

SOUQ(株)：WEB3.0/観光DXを基盤にオーバーツーリズム問題に取り組む

- 多様な交流人口を地域の関係人口に醸成させるための仕組みを創発。

“FOUNDEE”はローカルエリアのオーバーツーリズム問題と担い手不足問題を解決するWebサービス。旅行者に地域の環境保護/文化継承の担い手となってもらう対価に、地域で“えこひいき”されるNFT（デジタル上の認証バッジ）を配布。地域との繋がりを求める旅行者や企業と、関係人口によりコミュニティを維持したい地域を貢献の可視化をベースにマッチング。



伝統食



コワーキングスペース・サウナ付き一棟貸し



海外ノマドワーカーのとある休日

体制図

SNOW SAFARI (株)

DX等連携

SOUQ (株)

DMO
雪国観光圏
雪国観光舎

農林業者

国際大学
(他 教育機関)

国内向けツアーや
ワーケーション、
海外ブランディング
連携

農林作業連携
リトリートツ
アー等提携

産学連携
プロジェクト
インターンシップ

SNOW SAFARIが観光や地域事業に取り組む中で生まれた課題をDX・IT活用で解決することをミッションとしている連携会社

取組の成果



関係人口構築アプリケーション
“FOUNDEE”を通じて、地域の里山保全、古民家の再生、耕作放棄地の再活用などのプロジェクトを立上げ支援/ツアー化。

- ・支援プロジェクト数 12 (R4)
- ・関係人口化 (NFT発行) 225名 (R4)
- ・参加企業数 12社 (R4)

ウェブサイト ▶ <https://www.snowsafari.jp/>

スポーツと連携した農山漁村発イノベーションの事例

高知ファイティングドッグス（高知県越知町ほか）

半農半X（スポーツ）を実践する企業により地域農業を振興



球団オリジナルのショウガの植付け



地元保育園児・幼稚園児との交流

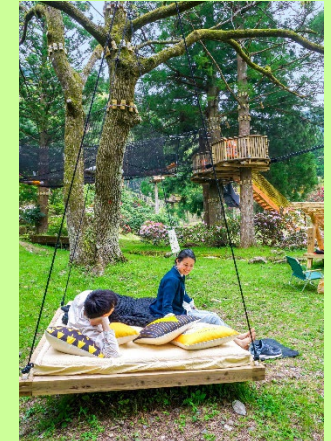
- ・ 地元農家から耕作放棄地を借り受け、選手が練習の合間に野菜の栽培、加工等を行い、球団が買い取って販売。選手引退後のセカンドキャリア支援や地域の農業振興に貢献。
- ・ 地域の保育園児・幼稚園児との田植え・稲刈り体験など、交流・地域活性化にも貢献。

空中の村（奈良県十津川村）

森林を活用したアウトドア施設の整備



フランス技術者によるツリーハウス製作



憩いの場の提供

- ・ フランスから来日した地域おこし協力隊が、村の森林を活用した森林アスレチック施設を整備。
- ・ 村の木材や地元食材を使った弁当等の提供のほか、地域の旅館とも連携し誘客を促進。
- ・ Wi-Fi等も備えており、ワーケーション利用も可能。